

しもつけ  
発行所 宇都宮市昭和1丁目8番11号  
下野新聞社  
電話 028-625-1111  
郵便振替口座 00180-1-623433  
読者室 028-625-1179  
(受付 月~均・午前10時~午後6時)  
編集局 028-625-1121  
販売部 028-625-1120(販売)  
事業部 028-625-1134(事業局)  
ビジネス 028-625-1133(広告)  
下野新聞社ホームページ  
https://www.shimotsuke.co.jp/

号外

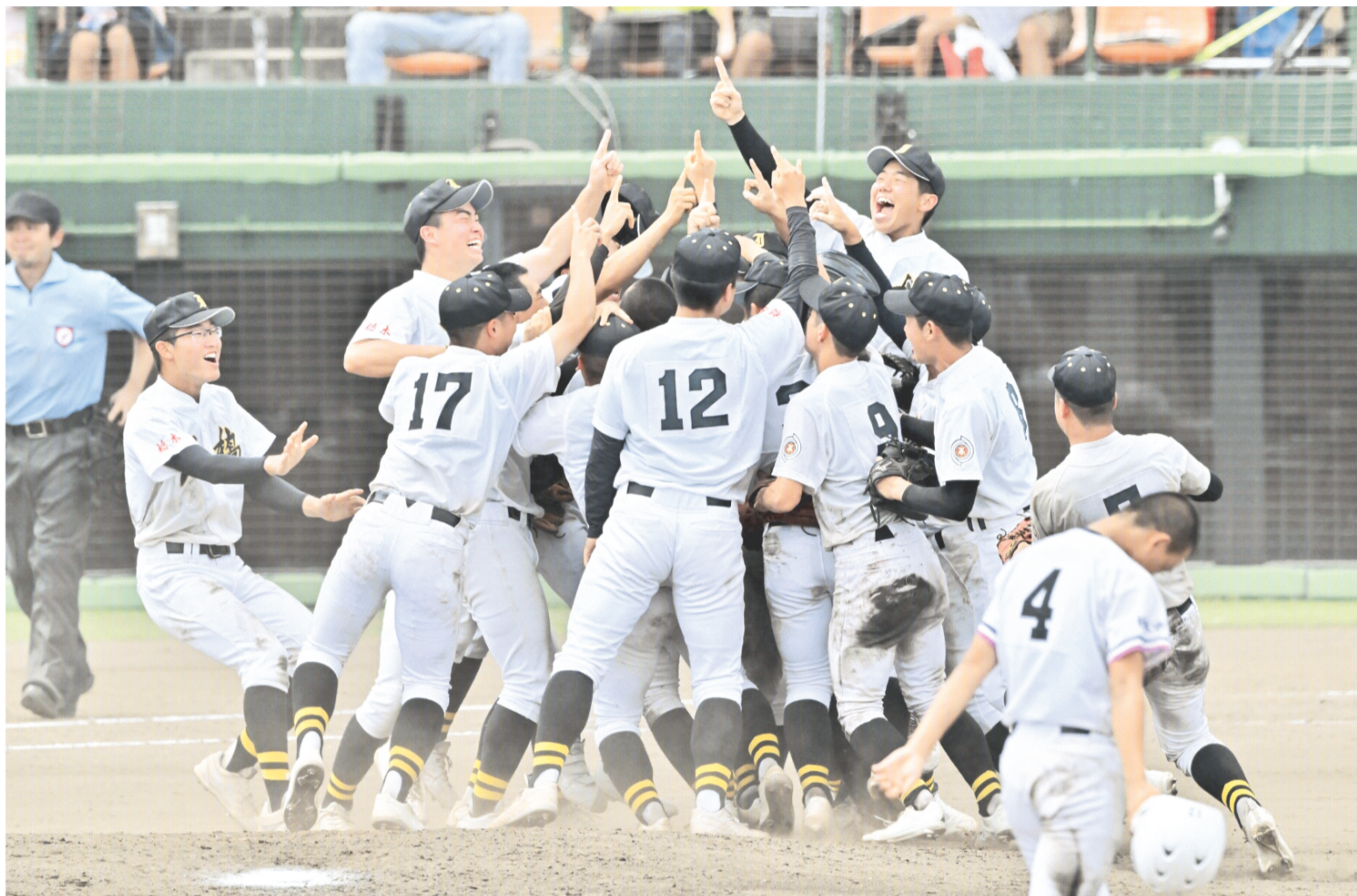
下野新聞1週間無料お試しキャンペーン実施中!  
お申し込みは  
0120-810081



第106回全国高校野球の詳しい結果は、29日付の下野新聞をご覧ください。

# 石橋 悲願の初V

## 5点差逆転 公立19年ぶり



初優勝を果たし、マウンドで喜びを爆発させる石橋ナイン。Eイシエック

### 全国高校野球栃木大会

## 国学栃木に9-8

第106回全国高校野球選手権栃木大会最終日は28日、宇都宮市のEイシエックスタジアム(県営本球場)で決勝が行われ、石橋が学院栃木に9-8で逆転勝ちし、初優勝を飾った。公立校の夏の甲子園出場は2005年の宇都宮南以来19年ぶり。

会場には約6500人が詰めかけ、午前10時に試合開始。初回に5点を失うピナインドを負った石橋は二回、原佑太、山下諒太の安打などで1死満塁とし、続く伊澤颯盛が走者一掃の三塁打。さらに若月優人の内野ゴロの間に1点差とした。

差を3点に広げられた直後の六回で一気に逆転した。山下、伊澤、若月の3連打で無死満塁とし、連続の押し出し四球などで4点を挙げ、この試合で初めて主導権を握った。初回途中から登板した入江祥太が1点リードを守り切った。学院栃木は初回、椿

▽決勝(Eイシエック)

国学栃木	1	2	3	4	5	6	7	8	9
石橋	0	4	0	0	1	4	0	0	9
学院栃木	5	0	1	1	0	1	0	0	8

▽本塁打 椿 井上(石) 柳田 平間 入江 山下



2回の追い上げで歓喜する石橋の応援席

秀太の左越え2点本塁打、鈴木健太、井上隼、鶴見飛龍の3連続適時打で5点を先制。理想的な試合の入りだったが石橋の粘りに屈した。

全国高校野球選手権は8月7日、兵庫県西宮市の阪神甲子園球場で開幕。組み合わせ抽選会は同4日に行

われる。石橋・福田博之監督の話 子どもたちがこんな力があるとは思わなかった。少ないチャンスを生かすことができた。甲子園では全カプレーで戦ってくる。

坂村哲也下野市長の話 石橋高校野球部の皆さん、夏の甲子園初出場おめでとうございます。同校は創立100周年を迎えました。甲子園でも持ち前の力を発揮し、伝統ある進学校の同校が全国の強豪校を相手に旋風を巻き起こすことを期待しています。